













## 車両形式・編成両数について

車両形式および編成両数は次のものが用いられている。併結する場合は、併結する編成の数だけ丸数字を並べて表記する。

3000 ②	3000 形 2 両編成 (TcMc)
3000 ③	3000 形 3 両編成 (Tc <sub>2</sub> MTc <sub>1</sub> )
3000 ⑤	3000 形 5 両編成 (Tc <sub>2</sub> M <sub>2</sub> TM <sub>1</sub> Tc <sub>1</sub> )
5000 ③	5000 形 3 両編成 (TcMMc)
5000 ④	5000 形 4 両編成 (Tc <sub>2</sub> M <sub>2</sub> M <sub>1</sub> Tc <sub>1</sub> or TcTMMc)
6000 ③	6000 形 3 両編成 (Mc <sub>2</sub> TMc <sub>1</sub> ) or 6050 形 3 両編成 (TcMMc)
6000 ④	6000 形 or 6050 形 4 両編成 (Tc <sub>2</sub> M <sub>2</sub> M <sub>1</sub> Tc <sub>1</sub> )
7000 ②	7000 形 or 7050 形 2 両編成 (TcMc) 【充当形式未確定】
7000 ②	7000 形 2 両編成 (TcMc)
7050 ②	7050 形 2 両編成 (TcMc)
8051F	8000 形 8051 編成：太宰府観光列車『旅人』6 両編成 (Tc <sub>2</sub> M <sub>4</sub> M <sub>3</sub> M <sub>2</sub> M <sub>1</sub> Tc <sub>1</sub> )
8061F	8000 形 8061 編成：柳川観光列車『水都』6 両編成 (Tc <sub>2</sub> M <sub>4</sub> M <sub>3</sub> M <sub>2</sub> M <sub>1</sub> Tc <sub>1</sub> )
9000 ②	9000 形 2 両編成 (TcMc)
9000 ③	9000 形 3 両編成 (Tc <sub>2</sub> MTc <sub>1</sub> )

## 急行列車の列車番号と急行運転区間について

Gxxx	福岡 (天神) ～ 花畑・柳川・大牟田間の急行、および柳川～大牟田間の急行
Hxxx	福岡 (天神) ～ 花畑間を急行運転する区間急行 (下り列車の種別変更駅は久留米)
Jxxx	福岡 (天神) ～ 筑紫間を急行運転する区間急行
Kxxx	福岡 (天神) ～ 二日市間を急行運転する区間急行
Lxxx	福岡 (天神) ～ 太宰府間の急行

## 備考

- 併結編成の併結順序は、特に指定ある列車を除き固定されない。
- 太宰府線内折り返しの列車は、太宰府線の項にて掲載。
- 2 両編成の列車は、特記ある列車・区間を除きワンマン運転を実施。
- 2012 (平成 24). 7. 20 より、2 両編成の列車は運転全区間で中間扉を締切り、各車両前後扉のみ開閉。2 ドア車として案内。
- 2014 (平成 26). 3. 22 より、蒲池・塩塚・中島・江の浦・開・渡瀬の 6 駅で昼間時間帯無人駅化。
- 上記 6 駅の無人時間帯及び、矢加部・徳益 (終日無人) の 2 駅では、ワンマン列車は先頭車のみドア開閉、後乗り前降りを実施。
- 7000 形 (4 扉車)・7050 形 (3 扉車) が 2 編成以上併結組成する時は、7000 形のみ、7050 形のみで編成内扉数を統一して組成。

















## 備考

- 2010（平成 22）. 11. 10 より、西鉄五条駅、太宰府駅ホーム改良に伴う有効長短縮のため、7 両編成は太宰府線内運転禁止となる。
- 急行列車は、太宰府線内は各駅に停車。旅客案内は「急行」もしくは種別省略、運転取扱上は「普通」となる。







